

とっておきの1冊を紹介しよう

小学校 1年 国語
「とっておきの1冊を
紹介しよう」
読書活動

ねらい

○日頃から取り組んでいる読書の記録から、とっておきの1冊を紹介することを通して、読書の楽しさを味わい、色々な本を読もうとする意欲につなげることができる。

学習展開

①本時の課題「とっておきの1冊を、どうやって紹介するのか考えよう」を確認する。

・本の紹介を通して、友達に伝えたいこと(話のおもしろさ、学べること等)をはっきりしておくことを確認する。

②自分がやってみたい紹介の方法を考える。

・紹介の方法は、1つにこだわるのではなく、自分で工夫をしたり、途中で変更・修正をしたりしてもよいことを伝える。

③自分のアイデアを友達と交流する。

・紹介方法を選んだ理由も話すことで、メリット、デメリットに気づかせたり、自分に会う伝え方をより工夫しようとする意欲を持たせたりする。

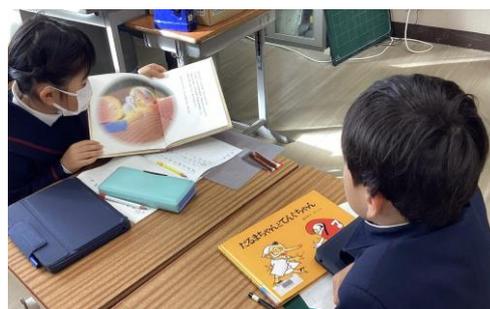
④本時の学習を振り返る。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学習アプリ「ロイロノート」を活用し、これまで読んだ本をデジタル読書記録として蓄積しておく。
- 司書教諭は、紹介する方法のモデルを示す。
- 学校司書は学習に合わせた図書の展示をする。



【紹介方法を端末に書き込む児童の様子】



【とっておきの本を紹介する児童の様子】

★指導のポイント

- ◆ 紹介する本のジャンルを限定することなく子ども自身に選択させる。
- ◆ 紹介する内容と方法を自分でデザインするという課題を設定する。
- ◆ 子ども一人一人が自己調整しながら学習を進めていくことが期待できる。

資料

【単元構想に当たって】

明治図書『国語教育』2023年1月号 稲井達也「提言 読書指導の現在地」
全国学校図書館協議会(2023)「第67回学校読書調査」